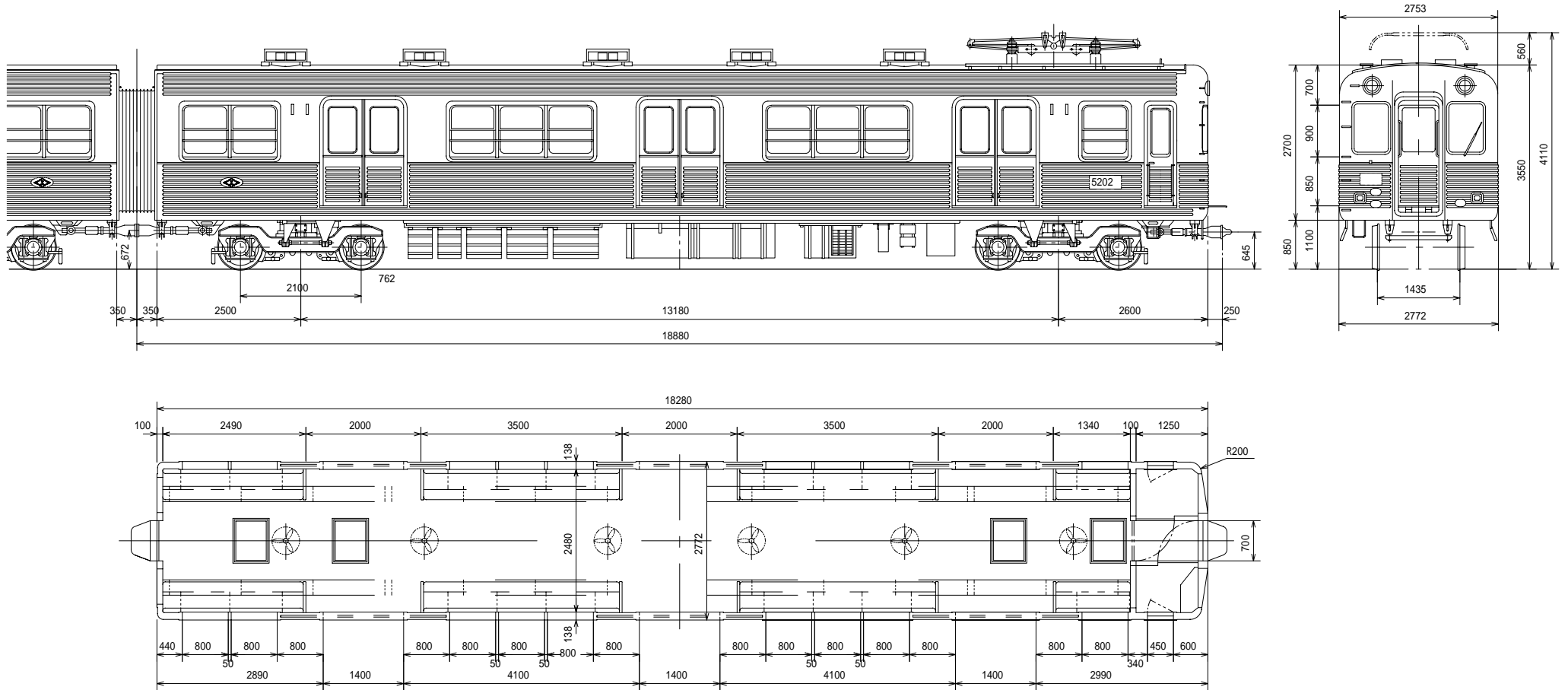


阪神電鉄 5201型 形式図



1959年に登場した通勤用の新型電車

試作、テストを重ねた末に完成した車両で、高率の加速、減速を誇っており、特急、急行に追われても各駅停車しながら逃げ切るといった性能が第一の特徴

そのためニックネームをジェットカーという

両運転台式の5100型と、片運転台式の5200型が作られたが、図はそのうちのステンレス車体を使用した

5201・2でジェットシルバーと呼ばれるもの

このステンレス車体は東急5200、国鉄サロ95に次ぐ日本で3番目のもの、関西で最初

台車はKS59だが空気バネつきのため、これにまでエアロシルバーの名がつけられた

外観的には何よりもステンレス車体特有の銀色の地肌と、無数に並ぶリブが特色

なお正面ドアが一段引き込んでいて幌を折りたたむと車体と同一面になる